福島の未来を担う「FUKUSHIMA NEXT」

福島では今、多くの方々が環境再生や復興に向けた取り組みを進めています。
そして福島では「その先の環境」を目指す思いと"FUKUSHIMA NEXT"の活動が始まっています。
福島の復興や未来のためにチャレンジしている人々をもっと多くの人に知っていただきたい、そして応援していただきたい。
そんな思いから環境省と福島県は未来志向の優れた取り組みに対して表彰し、
その活動を広く周知する福島環境リブランディングキャンペーン「FUKUSHIMA NEXT」を設けました。
今回は「FUKUSHIMA NEXT」福島県知事賞受賞、
郡山女子大学短期大学部「つなぐデザインプロジェクト」の取り組みをご紹介します。

デザインの力で思い出を未来につなぐ。

郡山女子大学短期大学部 地域創成学科の「つなぐデザインプロジェクト」は
東日本大震災の復興と記憶の継承に取り組んでいる地域連携プロジェクト。
デザインの力で今の福島県を発信することで風評被害など被災地域の課題に向き合うことを目的に始まりました。
「いまだ全町避難が続いている双葉町の双葉南小学校に、フィールドワークで訪問しました。
震災後から時間が止まったような光景を前に、当時の子供たちに想いを馳せたことがきっかけです」と、
指導教員の小松太志准教授。
双葉北小学校・南小学校に残されていた教室のカーテンや体育館の紅白幕を布材料とした記念品をデザイン・製作、
双葉町の新成人の方たちへ贈呈することにしました。
今年、成人式を迎えた方たちも震災当時は小学3年生。「思い出をつなぎたい」そのような考えで取り組み、
学生たちはフィールドワークなどの結果を踏まえて、記念品をペンケース・巾着袋・包み布に決定。
双葉町に新たに工房を構えるアパレルメーカーのフレックスジャパン株式会社の協力を得ながら、
今年1月3日の成人式で贈呈することができました。
「未来に向けて種を撒き、育んでいきたい」小松さんと学生たちの、福島への思いです。

震災から11年が経過しようとしています。
環境省は引き続き環境再生事業を安全かつ着実に進めながら、
福島の未来を担う人々、そして「FUKUSHIMA NEXT」の活動を応援していきます。

FUKUSHIMA
NEXT
WEB SITE

福島、その先の環境へ。 環境省

「福島、その先の環境へ。」シンポジウム 2022.3.12㊏
14:00～16:30 / 会場：ナショナルトレーニングセンター・Jヴィレッジ / 参加無料 / 詳しくは環境省ウェブサイトをご覧ください。